

## 令和5年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

### 千住 良治 議員

◇部活動の地域移行について

(1) 県内の現状と今後の動きについて

①各市町の取り組み現状について

- ・本県における、部活動の地域移行の現状はどのようになっているのか。

(教育長答弁)

部活動の地域移行については、現在、全市町において学校、保護者、指導者等から構成される協議会等が設置され、地域の実情に応じた具体的な取組内容の検討が進められているところです。

今年度、運動部では長崎市、大村市、長与町、川棚町、波佐見町が、文化部では新上五島町が国の指定を受け、実施主体の構築や人材確保の在り方など、円滑な地域移行に向けた実証事業に取り組むこととしております。

②人材確保について

- ・地域移行の全国的な課題として、指導者の確保が挙げられているが、本県における人材確保の取組はどのように考えているのか。

(教育長答弁)

円滑に部活動の地域移行を進めていくためには、指導者が安定的に確保されることが極めて重要だと考えております。

このため、今年度、退職教職員や大学生、保護者の皆様などご協力いただける指導者をリスト化し、市町や地域クラブ等へ情報を提供できるシステムの構築に取り組むこととしております。

③指導者が安心して指導できる体制づくりについて

- ・指導者を確保するためには、指導者が安心して指導ができるような体制づくりが特に重要だと考えるが、県の考えは。

(教育長答弁)

地域クラブは、学校管理下で行う学校部活動と異なり、参加者の会費等で運営され、活動にあたっては実施計画を作成し、さらにトラブルや事故への対応などの管理責任を明確にしたうえで、保護者の理解と多くの関係者の連携協働により行われるものであると考えております。

そのため、今後、市町が地域移行を進める中で、適切な管理運営ができる地域クラ

ブの整備を促進することが、指導者が安心して指導できる体制づくりにもつながりますので、県としても、市町の協議会に積極的に参画し、指導助言をするなど、しっかりとフォローアップを行ってまいりたいと考えております。

#### ④学校施設使用について

- ・地域移行に伴い、公共スポーツ施設の利用団体の増加が考えられることから、地域クラブ等が学校施設を利用しやすい環境が必要であるとするが、県の方針は。

(教育長答弁)

昨年12月に国において策定された「総合的なガイドライン」において、地域移行を進めるために学校施設の活用や低廉な利用料の設定など、地域クラブ等が利用しやすい環境づくりに取り組むよう示されたところであり、本県においても、今年3月に同様の方針を策定したところです。

今後、地域クラブ等が活動拠点を確保できるよう、学校施設の開放に向けて、市町に対し働きかけを行ってまいりたいと考えております。